

TOTO

電気温水器付洗面化粧台(ミキシング混合栓) ウォールキャビネット組立・設置説明書



LDA604AMH・LDA604BMH・LDA754AMH・LDA754BMH
LWZ600・750

製品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。



取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1) 安全上の注意

- 取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 ● 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 ● 人が損害を負う可能性が想定される内容 ● 物的損害の発生が想定される内容 を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
	この記号は、必ず実行していただく強制の内容であることを告げるものです。

- 本体に付属している取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

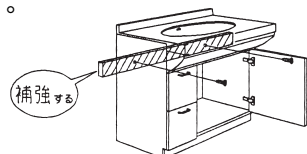
警告

壁固定ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強してください

キャビネットが転倒、落下しけがをするおそれがあります。



必ず実行



水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行ってください

火災や感電および水漏れの原因になります。



必ず実行

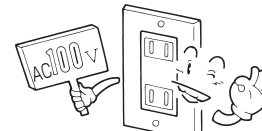


電源はAC100Vを使用してください

AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。



必ず実行

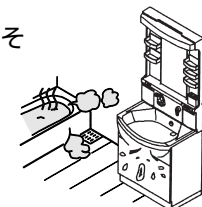


浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください

漏電により感電するおそれがあります。



禁止

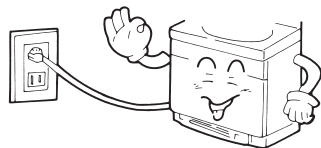


⚠ 警告

アース工事を行ってください(D種接地工事)
漏電により感電するおそれがあります。



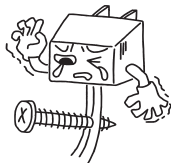
必ず実行



電源コードを傷つけないでください
漏電および火災の原因になります。
特に壁固定の際は気を付けてください。



禁止



⚠ 注意



必ず実行

必ず連結管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付けてください。
(凍結した場合、破損し漏水の原因となります)



禁止

水道水以外は通水しないでください。
(井戸水等を通水すると腐食などにより水漏れの原因となります)

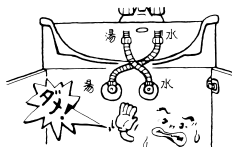
タンクが空のときは、絶対に電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
(空焚きとなり故障・事故の原因となります)

⚠ 注意

湯・水を逆に配管しないでください
水側でいきなり湯が出て、やけど
をするおそれがあります。



禁止

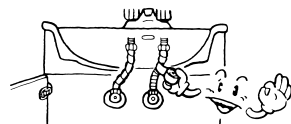


凍結のおそれがある地域では、必ず
凍結防止工事を行ってください

凍結破損で水漏れし家財などに損
害を与えるおそれがあります。



必ず実行



取り付け完了後、給排水管から水漏れ
がないことを必ず確認してください

水漏れを起こすと、家財などに損
害を与えるおそれがあります。



必ず実行



カウンター・洗面ボウルの上に
のらないでください

故障および転落・転
倒してけがをするお
それがあります。



禁止

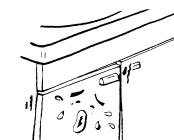


取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がた
つき・丁番のゆるみがないかを必ず確認してください

使用中にキャビネット・扉が落下し
てけがをするおそれがあります

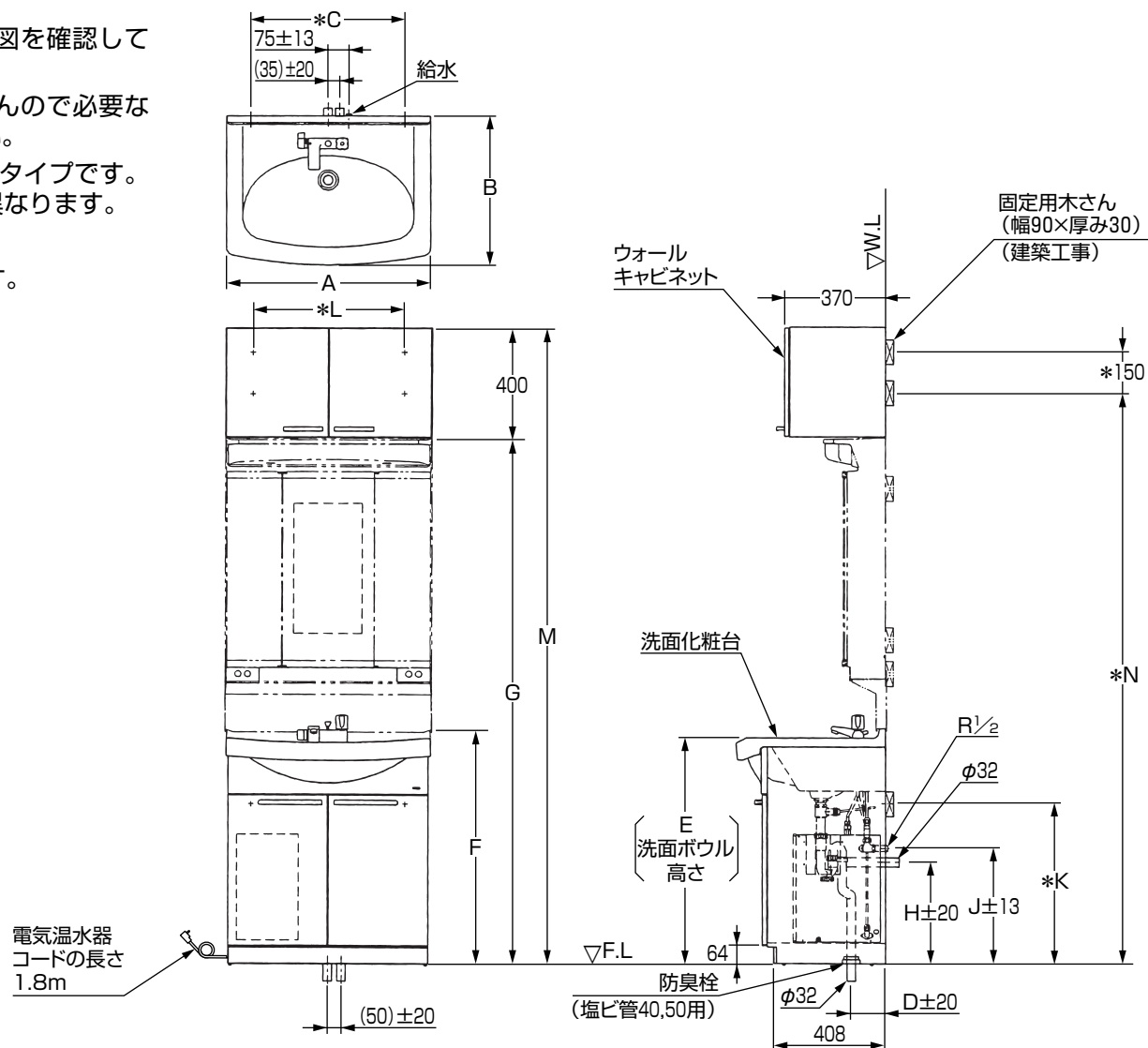


必ず実行



2) 設置寸法

- 特殊品の場合の設置寸法は承認図を確認してください。
- 壁排水パイプは付属していませんので必要な場合は、L094をご購入ください。
- 図はLDA754BMH+LWZ750タイプです。その他の機種は外観形状が若干異なります。
- *印は、木ねじ位置を示します。
- () 寸法は600サイズを示します。
- 床給水対応はできません。

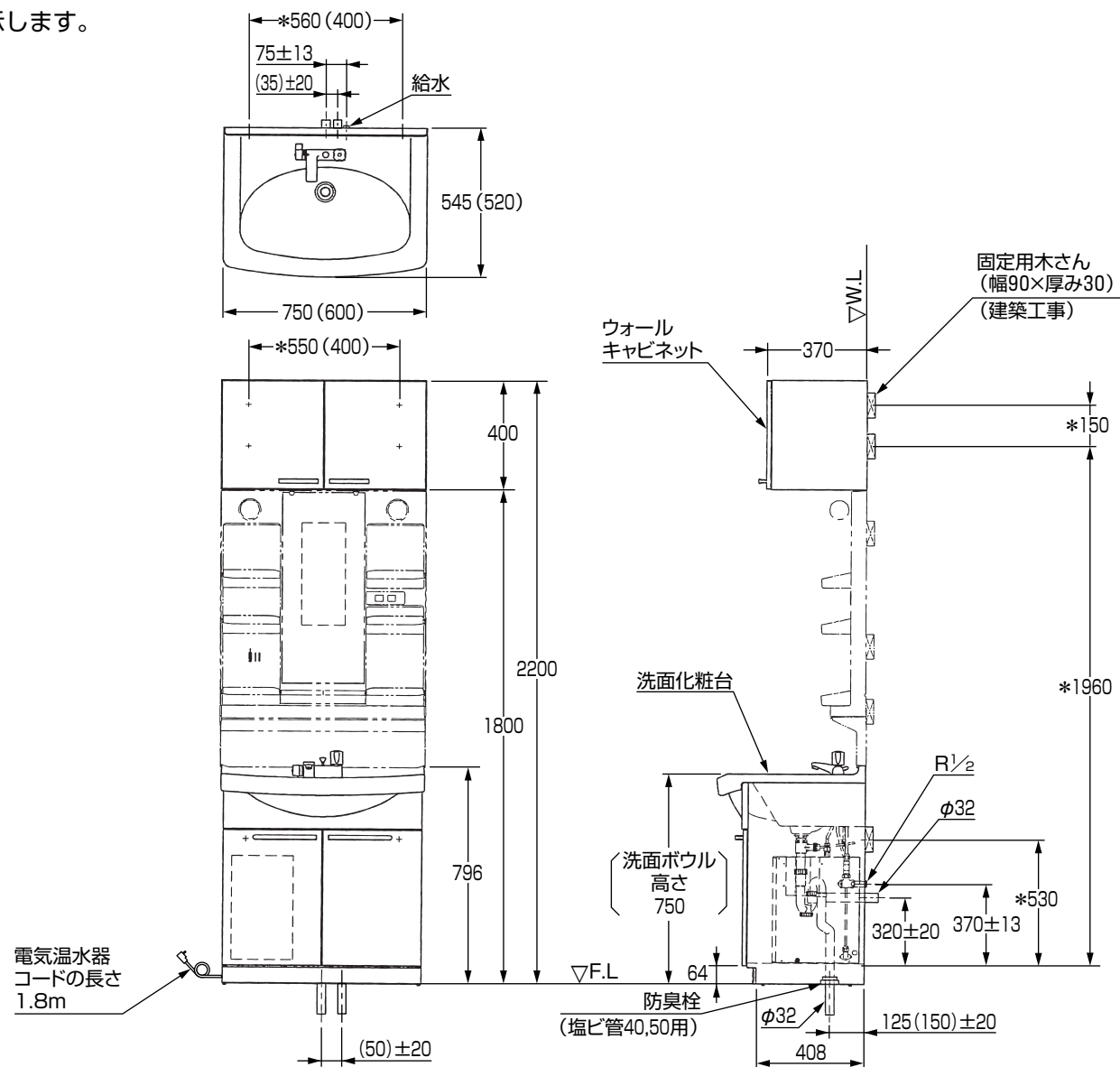


洗面化粧台製品品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
LDA604AMH	600	520	400	150	750	796	1850	320	370	530
LDA604BMH					800	846	1900	370	420	580
LDA754AMH	750	545	560	125	750	796	1850	320	370	530
LDA754BMH					800	846	1900	370	420	580

ウォールキャビネット製品品番		L	M	N
LWZ600	洗面ボウル高さ750の場合	400	2250	2010
	洗面ボウル高さ800の場合		2300	2060
LWZ750	洗面ボウル高さ750の場合	550	2250	2010
	洗面ボウル高さ800の場合		2300	2060

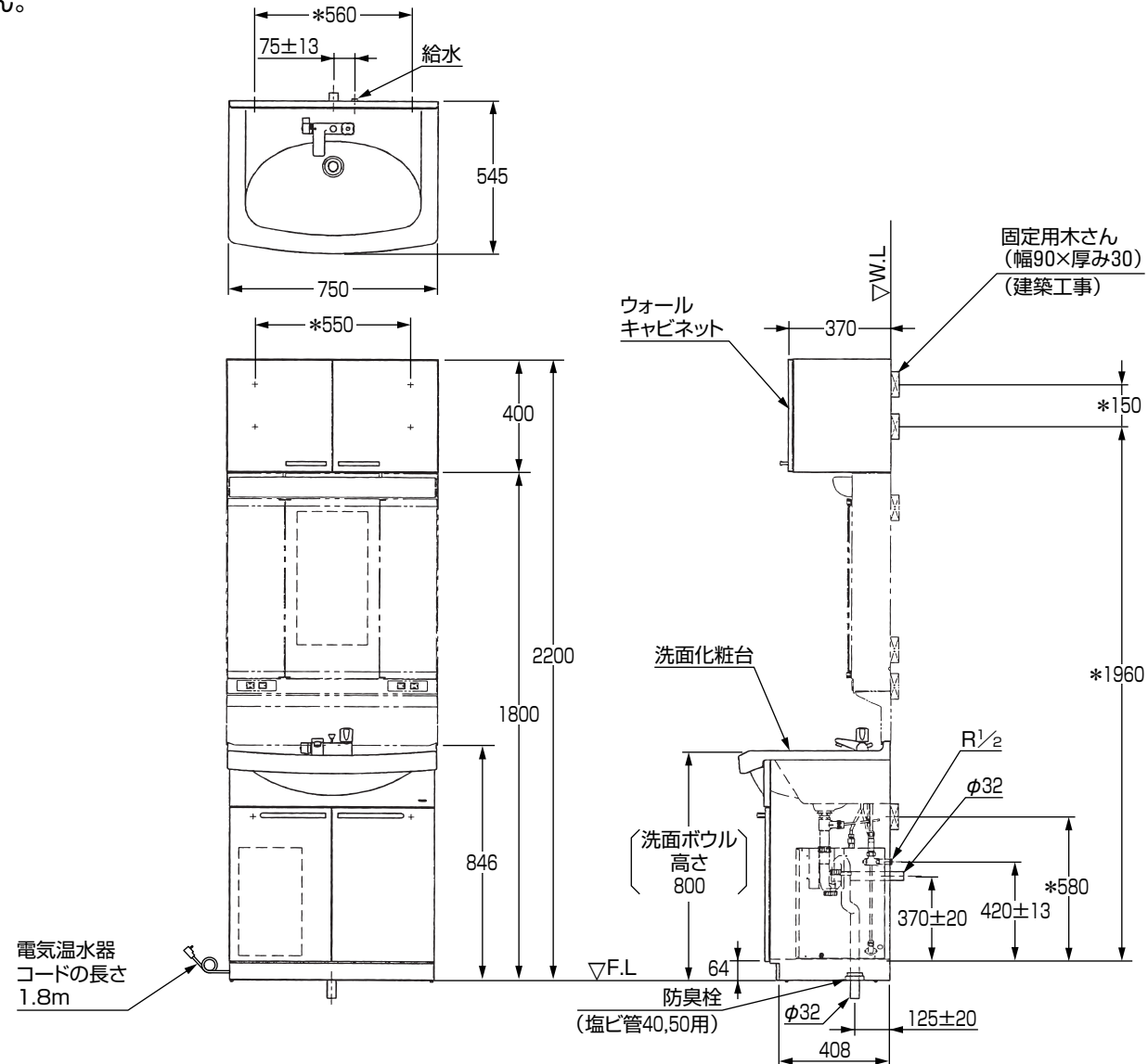
(H=1800対応:一面鏡の場合)

- 特殊品の場合の設置寸法は承認図を確認してください。
- 壁排水パイプは付属していませんので必要な場合は、L094をご購入ください。
- 図はLDA754AMH+LWZ750タイプです。その他の機種は外観形状が若干異なります。
- *印は、木ねじ位置を示します。
- () 寸法は600サイズを示します。
- 床給水対応はできません。



(H=1800対応:三面鏡の場合)

- 特殊品の場合の設置寸法は承認図を確認してください。
- 壁排水パイプは付属していないので必要な場合は、L094をご購入ください。
- 図はLDA754BMH+LWZ750タイプです。その他の機種は外観形状が若干異なります。
- *印は、木ねじ位置を示します。
- 床給水対応はできません。



3) 付属部品明細

洗面化粧台 LDA

<p>水栓一式</p> <p>ミキシング混合栓</p> <p>寒冷地の場合</p>	<p>止水栓</p> <p>1個</p>	<p>引棒</p> <p>1本</p>	<p>排水トラップ</p> <p>1セット</p>	<p>給水ふた</p> <p>1個</p>
<p>排水ふた</p> <p>1個</p>	<p>防臭栓</p> <p>1個</p>	<p>ふた用木ねじ (φ3×12)</p> <p>5本</p>	<p>壁固定用ねじ (φ5.2×55)</p> <p>2本</p>	<p>取扱説明書</p> <p>1冊</p>

ウォールキャビネット LWZ

<p>壁固定用ねじ (φ5.2×55)</p> <p>4本</p>

電気温水器

<p>電気温水器本体</p>	<p>排水ホース</p> <p>L=300</p>	<p>取扱説明書</p>	<p>注意書</p>
<p>木ねじ (φ4×8) 2本</p>	<p>両面テープ</p> <p>アングル</p>		

4) 設置上の注意

- 湿気が多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場所は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

5) 使用条件

- 給水圧力は0.07~0.75MPa必要です。

あらかじめ必要な電気工事

※必ず電気工事店にて工事してください。

- 電源は、AC100V (50/60Hz)、温水器消費電力505Wに適した配線をしてください。
- 総消費電力が2000Wを超える場合は別配線を設けてください。
- 漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。(D種接地工事)

6) 取り付け条件

- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れてください。
※特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることないように、壁固定ねじ取り付け位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。

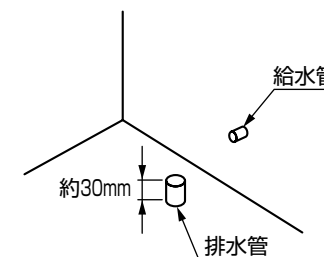
(固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の前面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)

※タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。

プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。

(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 化粧台に給水穴(φ52)、排水穴(φ90)を穴あけしてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。
仕上げ面より30mm立上げてください。
(排水管はVU40, VU50又はVP40, VP50をご使用ください。)

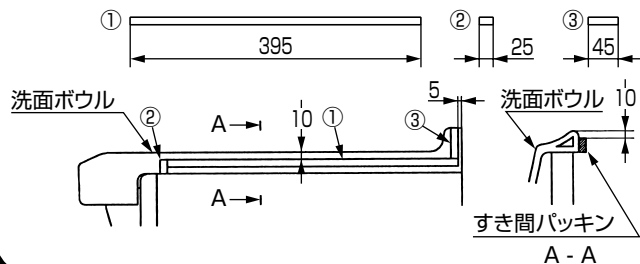


7) 取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

※タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

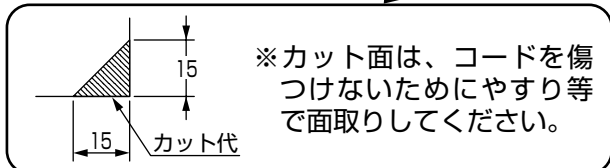
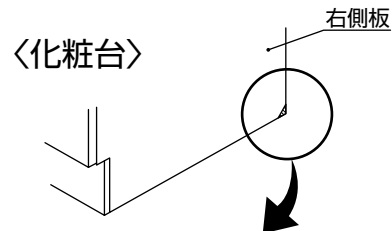
① すき間パッキンの取り付け

- すき間埋めスペーサ (L078) およびトールキャビネットをセットする場合、すき間埋めスペーサおよびトールキャビネットに付属しているパッキンを下記寸法にカットし洗面ボウルに貼り付けてください。



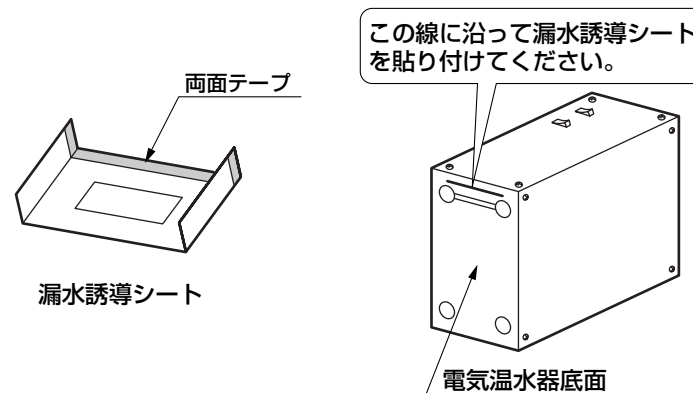
② 電源コード用の切り欠き

- 電源コードおよびアース線を取り出す側の側板を下図寸法でカットしてください。
- 下図の化粧台は、電源コードおよびアース線を化粧台に向かって右側に取り出す場合を示します。左側に取り出す場合は、これと対称になります。

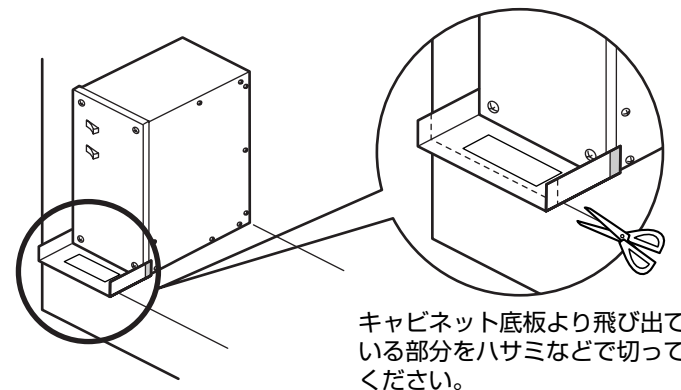


③ 漏水誘導シートの取り付け

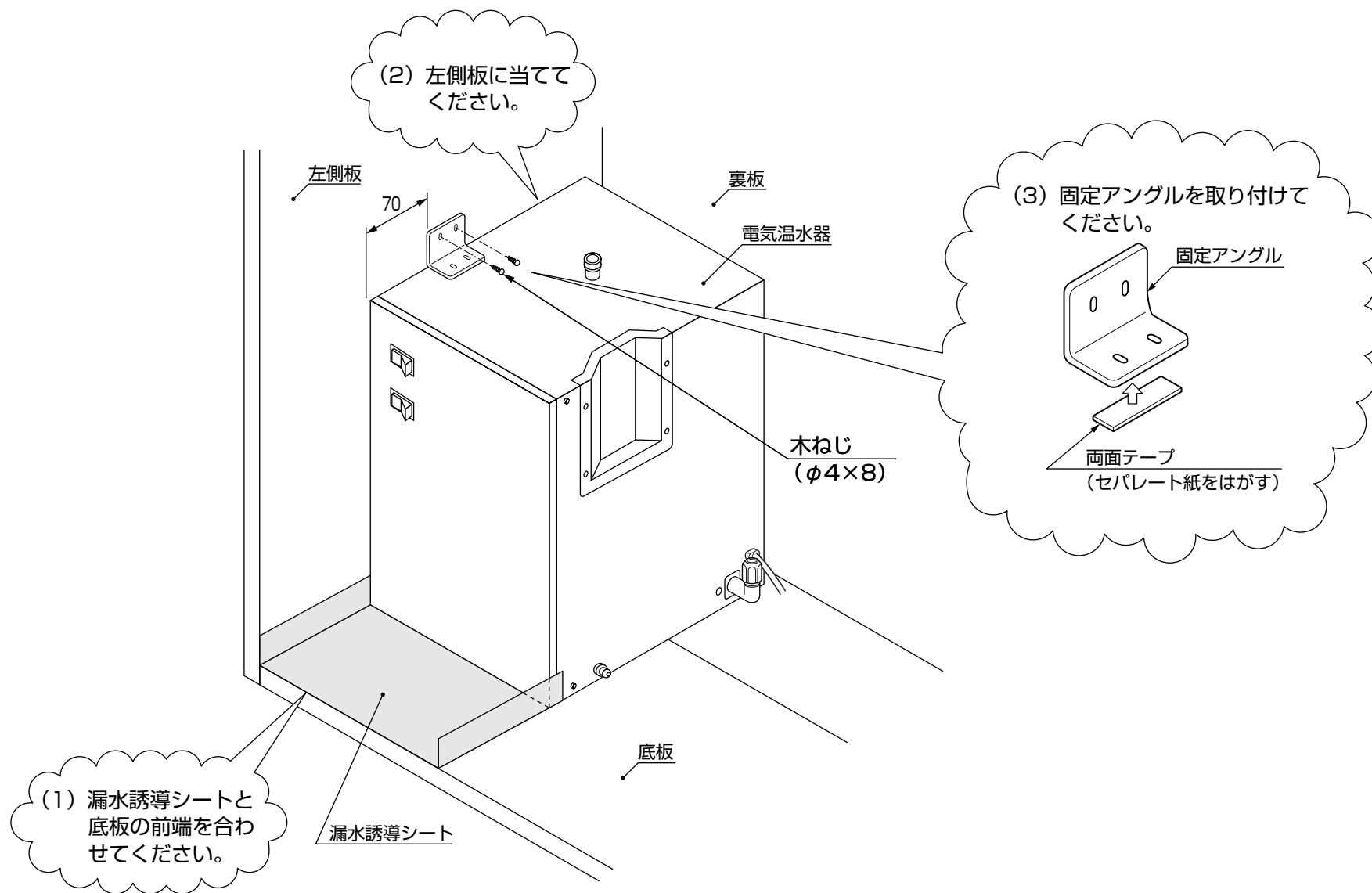
- 電気温水器をキャビネットに取り付ける前に、電気温水器の底面に漏水誘導シートを貼り付けてください。
- ① 漏水誘導シートに貼り付けてある両面テープで、電気温水器の底面に漏水誘導シートを貼り付けてください。



- ② 電気温水器をキャビネットにセットした時、漏水誘導シートがキャビネット底板より飛び出ている場合は、キャビネット底板の端にあわせて漏水誘導シートを切ってください。



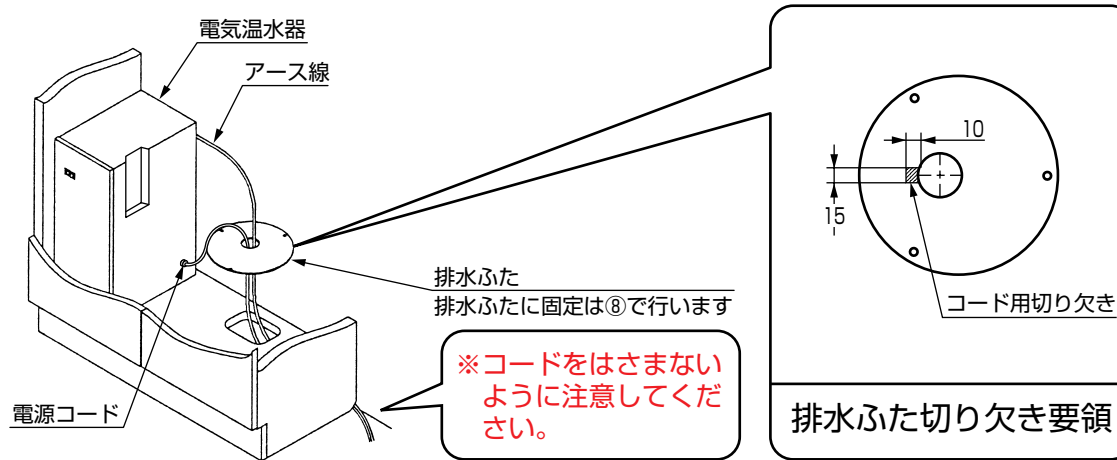
④電気温水器の取り付け



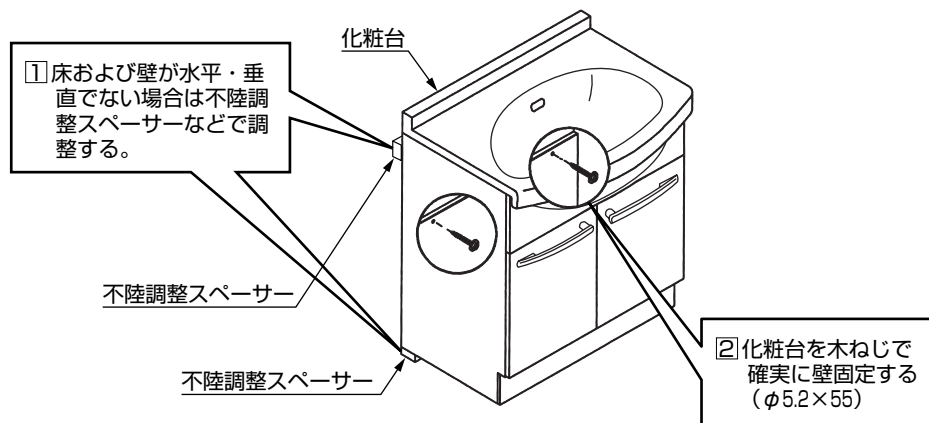
⑤洗面化粧台の取り付け

(1) 電源コードおよびアース線を下図のように取り出してください。

- 付属の排水ふたにコード用の切り欠きをつけてください。
- コードは排水ふたを通し、切り欠き部よりキャビネットの外へ取り出してください。(下図参照)



(2) 付属の木ねじ (2本) で壁固定してください。



- 床および壁が水平・垂直でない場合には、扉に段差ができるおそれがありますので、丁番を調整して段差をなくしてください。(調整要領は扉裏面に貼り付けのラベルをご参照ください。) それでも良くならない場合は、不陸調整スペーサーなどを入れて、水平になるように調整してください。

⑥ 水栓金具および止水栓の取り付け

●ナット・逆止弁本体・継手用袋ナットの締め付けは、別売のナット締付用工具TN15Nを使用し、十分に締め付けてください。

① 混合栓を取り付けてください。

※片締めしますと洗面ボウル（カウンター）が割れるおそれがありますので左右交互に均等に締め付けてください。

② 混合栓に継手を差し込み逆止弁を取り付けてください。

③ 連結管を継手のストッパーに当たるまで差し込んで取り付けてください。

※洗面ボウル高さ750のときは連結管差し込み側をカットして取り付けてください。

④ 連結管を曲げて取り付けてください。

※管がつぶれないように注意してください。
※逆止弁又はエルボに取り付けた状態で曲げないでください。

取り付け部が変形し、水漏れすることがあります。

※洗面ボウル高さ750のときは連結管差し込み側をカットして取り付けてください。

⑤ 止水栓を上向き（寒冷地の場合は右向き）に取り付けてください。

⑥ 止水栓に逆止弁を取り付け、連結管を逆止弁のストッパーに当たるまで差し込んで取り付けてください。

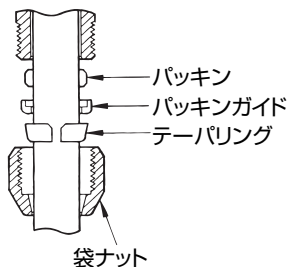
注1 テーパーリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きをまちがえないでください。

注2 連結管③④⑥締め付けについて

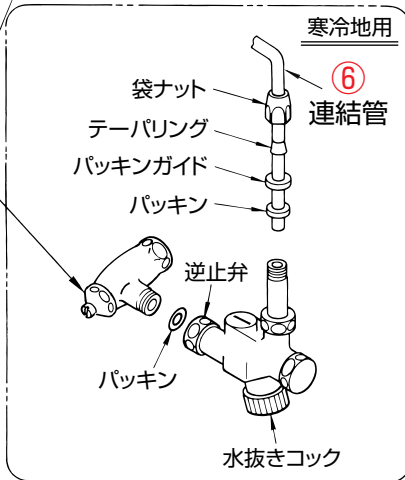
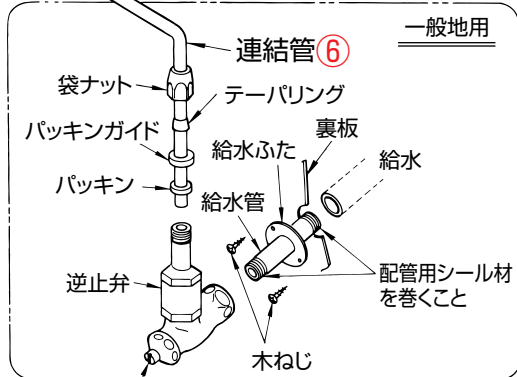
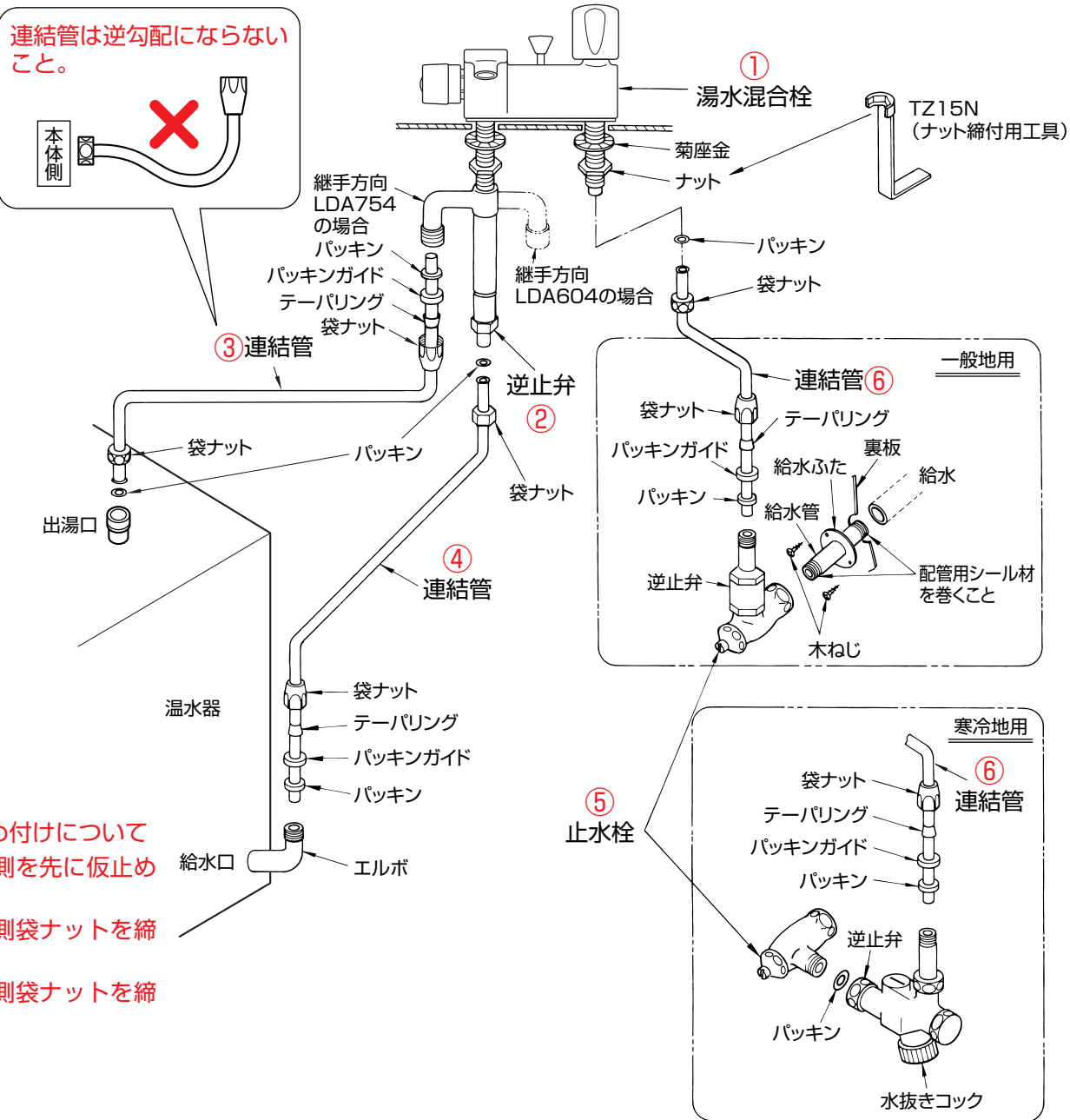
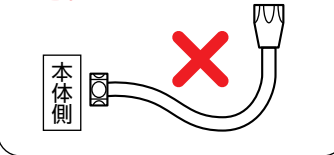
1. 連結管差し込み側を先に仮止める。

2. 連結管つば付き側袋ナットを締め付ける。

3. 連結管差し込み側袋ナットを締め付ける。



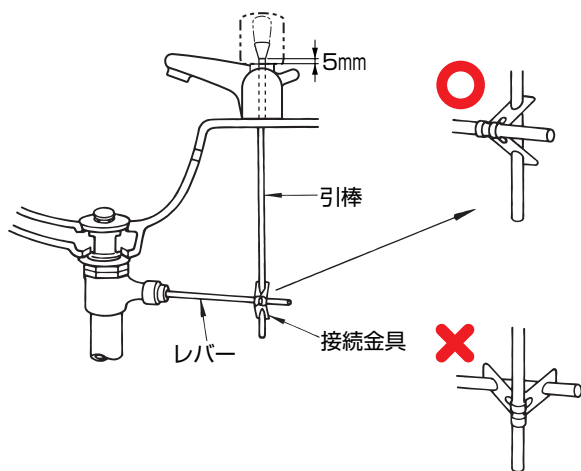
連結管は逆勾配にならないこと。



⑦ポップアップ引棒の取り付け

- レバーを下側いっぱい下げ、引棒を図のように接続してください。

また、引棒を上下に作動させた時排水栓がスムーズに動くか確認してください。

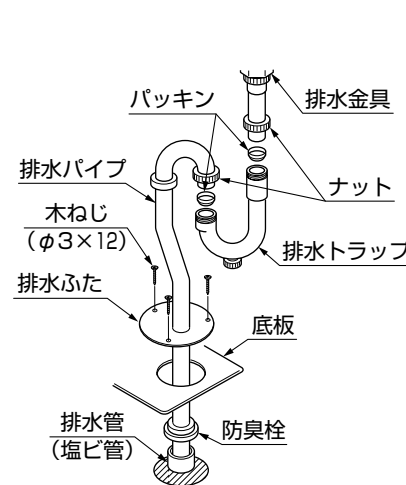


⑧排水トラップの取り付け

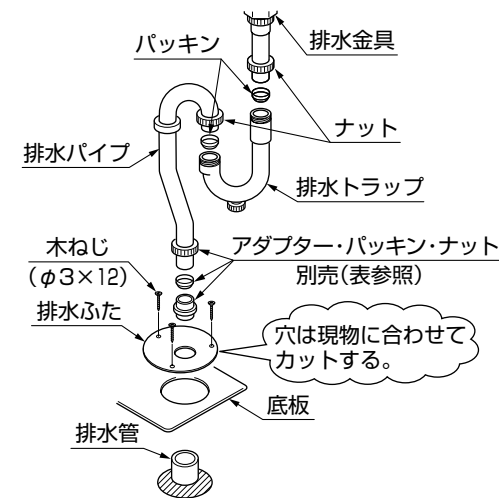
- ナットは手で確実に締め付けてください。(工具は使用しないでください。)
- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込んでください。
- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管とトラップの別売のアダプター(右表)で確実に接合してください。

集合・高層住宅の場合

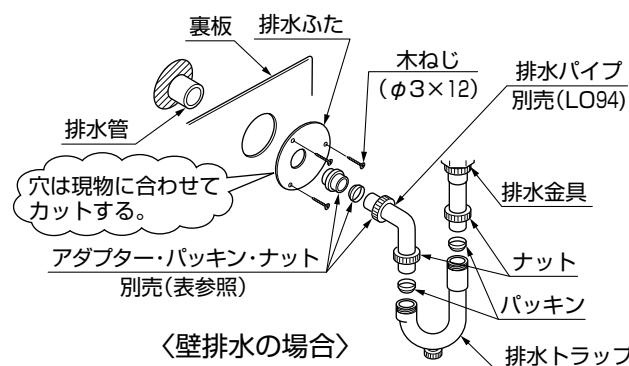
アダプタの種類	サイズ
T1122 (鋼管用)	R1 $\frac{1}{4}$
T1122J (塩ビ管用)	30用
LO48 (塩ビ管用)	40用
LO49 (塩ビ管用)	50用



〈床排水の場合〉

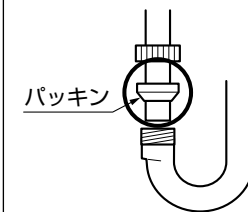


〈集合・高層住宅の場合〉



〈壁排水の場合〉

※パッキンの方向に注意してください。



8) 電気温水器の水抜き方法

〈水抜きの前に〉

必ず電源スイッチを「切」にして電源プラグを抜いてください。
(空焚きとなり故障、やけどの原因になります)

重要

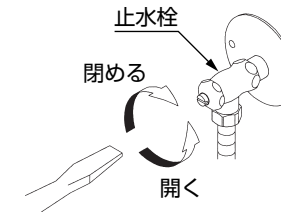
混合栓の給湯・給水ハンドルを開け、タンク内の湯を出しきってください。

(タンク内に湯が残っていると、やけどをするおそれがあります)

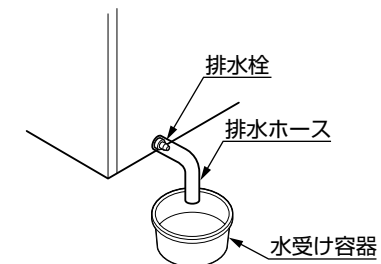
※混合栓から水が出はじめるまで、出湯してください。

〈水抜手順〉

(1) 湯を使い切ったら、止水栓を右に回して閉めてください。



(2) 排水栓に付属の排水ホースを接続し、下図のように水受け容器などで受けて排水栓を左方向に回してください。
(タンクが満水の時、水抜きは約12分かかります)



(3) 排水栓を右方向に回して閉めてください。

9) 電気温水器への通水

- 止水栓を開いてください。
- 温度調節ハンドルをH側いっぱいにして開閉ハンドルを開き、5分程度お待ちください。吐水口から水が連続して出はじめるとタンクが満水になったことを示します。
- 配管接続部に水漏れがないことを確認してください。



10) アースの接続と通電確認

(1) アース線をアースターミナルに接続してください。

(2) 通電確認を次の方法で行ってください。

〈電気温水器〉 (※空焚き防止のため、タンクの満水を確認して電源を入れてください。)

- 温水器の差し込みプラグを、100V用コンセントに差し込み、温水器の電源スイッチを入れてください。通電ランプが点灯すれば正常です。
- 温水器の電源スイッチを「切」にすると、通電ランプは消えます。
- 設置後、長期間使用されない場合は、電源スイッチを「切」にしてください。

9) 寒冷地タイプの水抜き方法

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

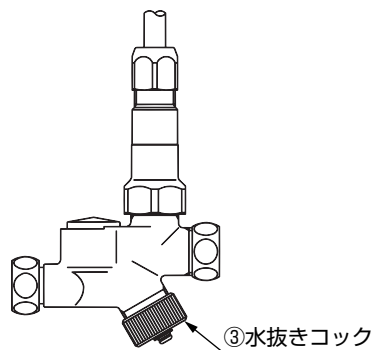
凍結のおそれのある時期に設置された場合は、別途設備された水抜き操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいてください。

また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

〈混合栓の水抜き手順〉

- ①止水栓を閉めてください。
- ②温度調節ハンドルをC側一杯に回して開閉ハンドルを開いてください。
- ③止水栓の水抜きコックを開いてください。

※水抜き後は必ず開閉ハンドルと、水抜きコックを確実に閉めてください。



〈排水トラップの水抜き手順〉

- ①水受けの容器を置き、水抜きコックを開いてください。
- ②水抜き後は必ず水抜きコックを手で確実に閉めてください。
(工具は使用しないでください。)

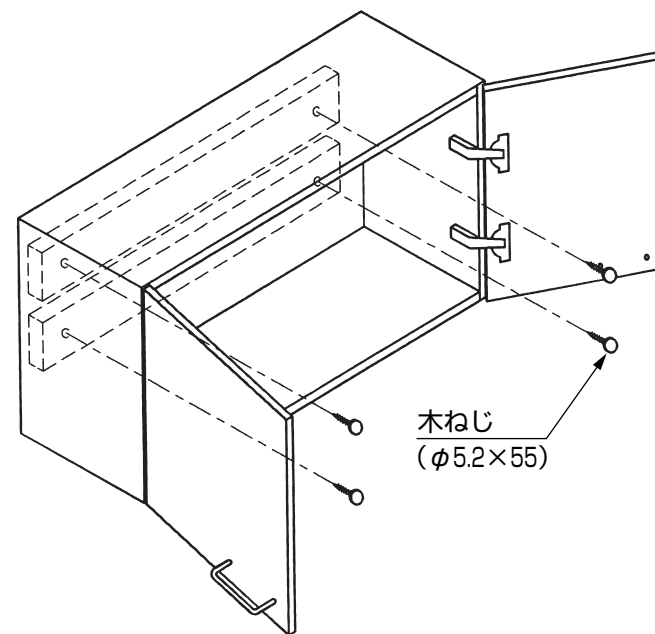


10) ウォールキャビネットの取り付け

- ウォールキャビネットは、化粧鏡の上のせて、水平・垂直方向の位置合わせをしてください。

- 付属の木ねじ（4本）で壁に確実に固定してください。

※壁がゆがんでいるとキャビネット本体が、ゆがんで取り付けますので不陸調整スペーサーを入れて、垂直に固定してください。



11) 取り付け完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後からふきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 扉の傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
調整要領は扉裏面に貼り付けのラベルを参照ください。